

PARTNERSHIP MAGAZINE

TOYO PRESS

次の100年に向けて、明石から世界へ

CONTENTS

- P.01 j-dec2026 日本ダイカスト会議・展示会
- P.03 IPF JAPAN 2026 国際プラスチックフェア
- P.05 展示会レポート
- P.07 展示会情報／拠点一覧

秋号

vol.342

2026 Autumn



成形と
イノベーション
その先へ

Up Coming
Exhibitions

展示会のご案内

2026 11/12・14

j-dec 2026

日本ダイカスト会議・展示会
in YOKOHAMA

電動化から自動化まで 次世代のダイカスト技術を提案

2026年11月12日(木)から14日(土)まで
パシフィコ横浜で開催される「j-dec2026
(日本ダイカスト会議・展示会)」に出展します。

「成形とイノベーション、その先へ」をコンセプトに、ダイカスト工程の高速化、高品質化、省人化、省エネルギー化をテーマとした提案をおこないます。

主な展示内容としては、油圧ダイカストマシン「BD-350V7EX」をベースに、増圧・型締・ポンプ機構を電動サーボ化した「E-cast」です。増圧電動駆動ユニットによる型締圧縮DC法を紹介するとともに、サーボスプレー装置「SD-35ME」の連動動作を実施します。高速動作や位置決め精度の向上など、生産性の向上と品質の安定化につながる特長を紹介いたします。

自動化・省人化の提案として、阪神テック株式会社の出出しロボットとオーバーフロー折り装置を設置し、製品の取り出しから後処理までの連動動作を紹介いたします。また、株式会社コスメックの金型クランプを展示し、金型交換や段取り作業の効率化を提案します。省エネ技術では、ポンプユニットにインバー

ターを取り付けて制御する方式「E-cast」をパネルで紹介いたします。ポンプやモーターの改造が不要で、既存設備へ容易に導入できる省エネ対策として提案します。

IoT関連では、「T-Station Cloud」を実演し、設備情報の可視化を紹介いたします。さらに、TOYOチャットボット「T-Guide」を参考出展し、今後の活用方法や展開について検討を進めます。

同時開催のダイカスト会議では、「圧縮DC法の実用化に向けた技術開発」をテーマに論文発表をおこないます。鋳造トライ、お客さまとの打ち合わせ、研究を通じて明らかになった条件設定の複雑さ、製品の安定性、品質モニタリングなどの課題を改善し、技術的な効果だけでなく、導入のしやすさまで考慮した内容です。

今回の出展と論文発表を通じて、現場で実行しやすく、効果を実感できるダイカスト技術を総合的に提案します。お客さまにご満足いただける展示会となるよう努めますので、ぜひご来場くださいますよう、よろしくお願いいたします。

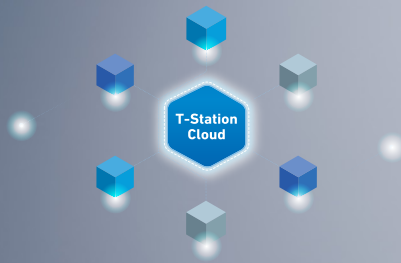
【製品ラインアップ】



BD-V7EX series
油圧ダイカストマシン
Hydraulic Die-Casting Machine



SD-35ME
サーボ駆動スプレー
Servo-driven spray equipment



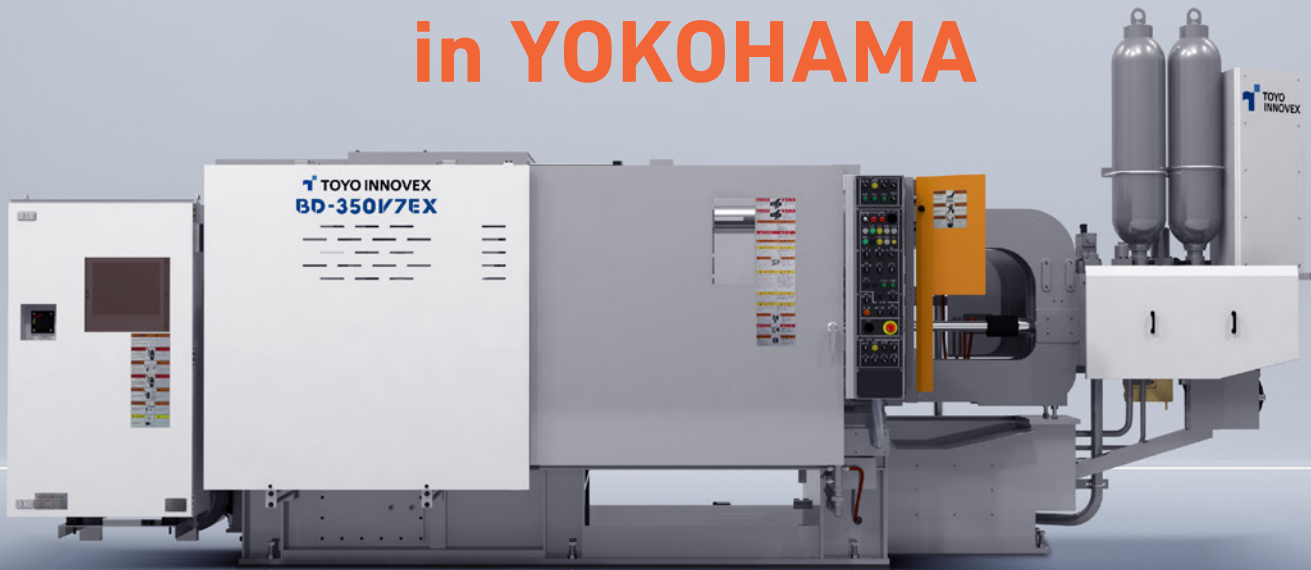
T-Station Cloud
生産現場の効率向上・稼働率向上・品質向上に貢献
Smart Integrated Control & Remote Operation

【実演ラインアップ】

- **BD-350V7EX** サーボスプレーや取出しロボットとの連動動作をドライサイクルで実演



j-dec 2026
展示会情報はこちら



2026 12/01-05

国際プラスチックフェア

IPF JAPAN
2026 in MAKUHARI

成形を、もっと簡単に 成形を、もっとスマートに

IPF2026では、環境負荷の低減、生産性の向上、自動化、成形現場のスマート化を実現する成形技術をご紹介します。

ET-80II VR4では、4種類の金型を用いたカトラリー成形を、1台の機械で実演します。また今回初披露となる縦型機用「SAG+α II」を搭載し、乾燥レス成形による消費電力量やCO₂排出量の削減を実現します。さらに、ガス脱気効果により、成形不良や金型メンテナンス頻度の低減にも貢献します。高品質で省エネルギーな成形を、ぜひ実機でご覧ください。

Si-80-7 / LFCpでは、リサイクル材と着色材を用いたコンパウンド成形を実演します。従来は別工程でおこなっていたコンパウンド工程を射出成形と一体化することで、製造コストの低減と生産効率の向上に貢献します。本システムは、汎用成形機にコンパウンド装置を組み合わせた構成のため、通常の汎用成形機としても使用できます。リサイクル材の有効活用と生産工程の効率化を両立する、次世代の直接コンパウンド射出成形技術をご覧ください。

TF-80vDでは、モーター部品内部にマグネットを固定する封止成形を実演します。今

回は、多関節ロボットを活用したトランスファー成形による自動成形システムとして、材料の搬送から成形までの工程を自動化しました。全電動式のトランスファー成形機は、従来の油圧駆動式に比べて樹脂充填量が安定します。これにより、モーター回転時の安定性向上に貢献します。また、成形条件の再現性にも優れ、成形品質の安定化を実現します。全電動式トランスファー成形機による自動化システムと、品質安定化の効果を、ぜひ実機でご覧ください。

さらに今回は、成形工程を一貫して支援する、AIを活用した成形支援ソフトウェア「T-plot」を出展します。T-plotは、AIをはじめ、数値解析やリアルタイムセンシングを連携させることで、成形立ち上げから量産までの工程を一貫して支援するソフトウェアです。成形条件の設定や状態確認、トラブル対応など、現場におけるさまざまな判断をサポートし、熟練者の知見を活用しながら、成形品質の安定化と業務効率化に貢献します。IPF2026では、成形機単体の性能だけでなく、周辺機器、自動化、AIを含めた成形工程全体の最適化をご提案します。ぜひ会場で、次世代のモノづくりを支える成形技術をご体感ください。

【製品ラインアップ】



Si-7 series
電動サーボ射出成形機
Versatile Molding Machine



ET-II series
全電動型成形機
Vertical Injection Molding Machine



TF-80vD
全電動型トランスファー成形機
Transfer Molding Machine

【実演ラインアップ】

- **Si-80-7** リサイクル材と着色材のコンパウンド成形
- **ET-80II VR4** 4ステーションによるカトラリーを成形実演
- **TF-80vD** 電気自動車用モーターコアの成形実演 (連続実演無し)



IPF JAPAN 2026
展示会情報はこちら





異なる答えを

中国で高まる、独自技術への関心

去る7月15日〜17日、連日38度に迫る猛暑の上海で、「第20回上海国際圧鑄及有色鑄造展」が開催されました。日系・中国系はもちろん、欧州メーカーも多数出展する中国最大規模の展示会です。

会場では、アルミダイカストマシンの他、チクソモールドマシンなど、中国の製造業を牽引するEV関連製品が数多く展示されており、厳しい暑さにもかかわらず、中国、ベトナム、インド、韓国、マレーシアをはじめとするアジア各国から想定を上回る多くのお客さまが来場され、会場は終始大きな熱気に包まれました。

弊社ブースでは、業界最速クラスとなる100Gの加速度を誇るダイカストマシン「BD-350VTEX」と、世界唯一のテクノロジーである「電動増圧ユニット」を展示いたしました。従来の増圧ACCとは異なり、充填完了後の鑄造圧力を調整し、ゲート部の固相率に対して多段階に圧力を設

定することで、バリの発生を抑えた高品質な製品を鑄造することを可能とする、弊社独自の技術であります。

また、現地業界紙が主催する発表会において、弊社設計部が「増圧多段・型締力による圧縮DC法」に関する技術発表をおこないました。今までにない新しい鑄造法として多くの来場者及びお客さまから強い関心と高い評価を頂き、発表をきっかけにブースへのお引き合いも多数頂戴いたしました。

世界各国に進出している中国系の電気自動車メーカー関連の引き合いは堅調に推移しており、特に東南アジアへ進出されるお客さまからの引き合いは増加しております。今後も市場の変化やお客さまからのニーズに、スピーディかつフレキシブルな対応が出来るよう【GMS Group】一丸となり「Customers' Value Up」を実践してまいります。

2026 07 / 15・17

上海 国際圧鑄及
有色鑄造展

中国国際ダイカスト会議・展示会

欧州で示す、成形技術の広がり

去る6月9日〜6月12日の4日間にわたり、イタリア・ミラノにて「PLAST 2026」が開催されました。

夏至直前で開催された本展示会ですが、ミラノは日本でいう稚内と同じ緯度に位置するため、最高気温は30℃を超える一方、日没はサマータイムも相まって夜の9時以降と遅く、日中は屋外のバルでアペリティーボ好きのミラネーゼが街中に繰り出します。

今年はフランスのリヨン、スペインのバルセロナでも同時期にプラスチック展が開催されましたが、その中でもPLASTは一番の来場者となる3万5千人がおよしにられました。

今回も弊社ヨーロッパ総代理店のTOYO europe 社と共に出展し、400㎡もの広大なブーススペースに中大型成形機3台を配備。容器市場をターゲットとしたSI-850-7ではパール2個取りを17.8秒、SI-350-7 Pack は食品容器4個取りを4.3秒にて高速成形したのに加え、SI-180-7

では反操作側に外置き射ユニットを配備して2材成形する優れた機能拡張性を披露。さらにヨーロッパでは販売好調な成形機操作画面をリモートで閲覧操作できるT-Remote WEBを受付のモニターとWi-Fiによるスマホの両方で実演しました。

欧州各地から訪問頂いたお客さまには商談スペースにて日替わりのイタリア料理を振る舞い、日伊が融合した展示内容であったと確信しております。

TOYO europe 社はロンバルディア州ブレシアに位置し、成形機やその保守部品を豊富に抱え、同州のミラノまでは車で約1時間と近い上、工業地帯が密集するイタリア北部の中央にあることから、保守メンテのためお客さま訪問するにはアクセスが良い場所です。お客さまの稼働を維持するため、TOYO europe 社とイタリアに駐在する日本人2名を中心に時差を感じさせない日欧2極体制にて成形イノベーション&Customers' Value Up に挑戦してまいります。

2026 06 / 09・12

PLAST 2026
in MIRANO

国際プラスチック・ゴム産業展
in イタリア・ミラノ

異なる市場に



ご来場前に

Webでの事前登録を

各展示会へのご来場には、来場登録が必要です。
QRコードから各展示会のWebサイトへアクセスし、
事前にご登録のうえご来場ください。

IPF Japan 2026

国際プラスチックフェア

期 間 12.1(火) ~ 12.5(土)
10:00-17:00
(最終日は16:00)

会 場 幕張メッセ(千葉県)

本展示会では、省エネルギー成形、直接コンパウンド射出成形、自動化システムに加え、AIを活用した成形支援ソフトウェア「T-Pilot」を出展します。
成形機から周辺機器、自動化、AIまで、成形工程全体の最適化につながるさまざまな技術をご覧いただけます。
ぜひTOYOイノベックスブースへお越しいただき、次世代の成形技術をご体感ください。



IPF JAPAN 2026

来場登録はこちらから

j-dec 2026

日本ダイカスト会議・展示会

期 間 11.12(木) ~ 11.14(土)
10:00-17:00
(最終日は16:00)

会 場 パシフィコ横浜

本展示会では、電動サーボ技術を取り入れた「E-cast」をはじめ、自動化・省人化、省エネ、IoTに関する技術を出展します。
ダイカスト工程の生産性向上や品質安定化につながる技術を、実機や連動動作を通じてご覧いただけます。
ぜひTOYOイノベックスブースへお越しいただき、これからのダイカスト技術をご体感ください。



j-dec 2026

来場登録はこちらから



TOYOイノベックス株式会社

本社・工場：〒674-0091 兵庫県明石市二見町福里523-1
TEL.078-942-2345 (代表) FAX.078-943-7275

東関東支店：〒332-0034 埼玉県川口市並木4丁目5-16
TEL.048-258-6601 FAX.048-258-6609

西関東支店：〒241-0804 神奈川県横浜市旭区川井宿町8-5
TEL.045-951-8000 FAX.045-951-8400

中部支店：〒465-0051 愛知県名古屋市名東区社が丘1丁目1202
TEL.052-704-4500 FAX.052-704-3980

関西支店：〒577-0012 大阪府東大阪市長田東5丁目1-28
TEL.06-6746-2434 FAX.06-6746-2864

西日本支店：〒674-0074 兵庫県明石市魚住町清水2241 山榮ビル4F
TEL.078-943-0304 FAX.078-943-0301

本社 海外部：〒674-0091 兵庫県明石市二見町福里523-1
TEL.078-943-7474 FAX.078-943-7222

仙台営業所：TEL.022-388-8414 FAX.022-388-8415

水戸営業所：TEL.029-272-3520 FAX.029-272-9214

北関東営業所：TEL.0284-91-0321 FAX.0284-91-2809

三島営業所：TEL.055-973-2032 FAX.055-973-2033

浜松営業所：TEL.053-424-6966 FAX.053-424-6967

岐阜営業所：TEL.058-274-2073 FAX.058-274-0626

三河営業所：TEL.0566-73-7311 FAX.0566-73-7312

北陸営業所：TEL.076-252-5370 FAX.076-252-9778

奈良営業所：TEL.0745-53-4825 FAX.0745-52-7279

九州営業所：TEL.0942-36-5070 FAX.0942-36-5071



◀ 会社情報はこちら



◀ YouTubeチャンネルはこちら